

岡山県立岡山南支援学校

地域とつながって学ぶ

～地域型実習と地域連携～



取組等の概要



実習での近隣の溝掃除



総合サービス班による妹尾
駅での清掃活動



地域の民生委員との交流会

本校は、岡山市の南部に位置し、知的障害のある児童生徒が学んでいる特別支援学校です。「やさしく、強く、たくましく、そして心豊かに」の校訓のもと、児童生徒一人一人の自立と社会参加をめざして、人との関わりを大切にしながら、教育活動に取り組んでいます。

○取組の目標

地域と連携した学習を通して、多様な体験と様々な人との関わりを充実させ、地域社会に貢献する児童生徒を育成します。

○取組の内容

「社会に開かれた教育課程」として地域とのつながりを大切にし、地域資源の活用や地域との連携による学習活動に取り組んでいます。

●地域型実習

高等部の作業学習では校内で学習した技能や態度を実際の社会の中でも発揮できるように、近隣にある駅や病院（隣接のフィットネスを含む）、公民館などの地域の施設を学習の場として提供していただき、清掃活動や販売活動を行っています。また、地域の事業所の方と協力して近隣施設の溝掃除なども行っています。

●地域と連携した学習活動

近隣の公民館で開催されている講座への参加や地域の民生委員との交流会の開催、近隣の学校との交流及び共同学習等、多様な学習活動を通して、地域の方々に本校の教育活動について理解を深めてもらうとともに、地域社会との関わりを積極的に図るよう取り組んでいます。